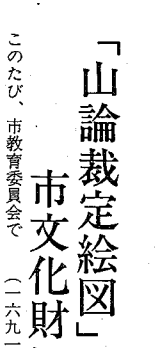
「山論裁定絵図」を市文化財に指定

このたび、市教育委員会では金津中野家所蔵の「山論裁定絵図四面と山論関係記録二十一点」を市文化財に指定し、市指定文化財が九件となりました。

この絵図と記録は元録四年（一六九一）から同六年にわたって髏摩堂山系をめぐって東西諸村に起きた一連の境界紛争を記したものです。金津村と橋田村との境界論争は同一領内でなかった関係から、幕府勘定奉行所に出訴され、幕府役人による実地検分が行われた後、江戸評定所において金津側の正当性が認められて一件は解決をみました。

江戸評定所において作成された綿密な境界確定裁定図と当事者間の紛争解決への真剣な交渉記録は、市の歴史的発展の過程を示す重要な資料です。


市文化財に指定された「裁定絵図」

文化財保護に努めましょう

文化財は国、県、市町村の歴史と文化を正しく理解するために欠かすことのできないものです。この貴重な遺産を大切に活用するだけでなく、子孫に誤りなく伝えてやることも私たちに課せられた重要な責務です。

現在、私たちの周囲では、文化財として価値のある自然、史跡が土地造成などで姿を消し、昔から使われてきたものが不要物として捨てられ、古い記録が散逸したりしています。

これまでに市民の方から約三百余点の民俗資料や古い記録などを図書館にご寄贈いただいていますが、個人でお持ちの方は大事に保存してください。

七月の上映会

□とき…七月十五日(水)の午後七時から

□ところ…視聴覚ホール（図書館二階）

□題名…ルーブル美術館、東山魁夷の世界

なお、「これはどういうものだろう」と思われる古文書や「こんなものは使いものにならない」と捨てられるような昔の生活用品がありましたら図書館（☎二一〇〇九七）へお知らせください。

仲川溪泉 大泉鉄泉 遺作展

図書館で十七日から

先号で、郷土に関する文化財の展示に仲川溪泉、大泉鉄泉両画伯の作品をお持ちの方にご連絡をお願いしていましたが、次のように展示会を開催します。ぜひ、ご覧になってください。

□とき…七月十七日から二十日までの午前九時三十分から午後五時まで

□ところ…図書館展示室

□展示品

▽仲川溪泉画伯…スサノオノ命、山水など多数

▽大泉鉄泉画伯…小野道風、加藤清正など多数

川口の仲川溪泉画伯、七日町の大泉鉄泉画伯と言われても市民の方にはなじみが薄いかと思われます。両画伯とも明治、大正時代に作品を出しておられますが、共通している点は、当時の社会は一般的に書画を飾る余裕のない頃で、生活に苦労されながら師について熱心に修業をされたということです。

神社や寺院、格天、額などに秀作が遺されております。

県展特別展

市制30周年記念

22日から市民会館で

今年は新津が市制を施行してから三十年目にあたりますが、この記念事業の一つとして「県展特別展」が当市の市民会館で開かれます。ぜひお出かけください。

♡とき…七月二十二日～二十六日（時間は午前九時～午後六時）

この特別展には、県展賞、奨励賞を受賞した作品と審査委員、県展運営委員の方たちの作品、それに県展に入選された市内の方たち二十三人の作品も展示されるほか、ジュニア展の入選作品約千点も展示されます。

この広報と一緒に優待券（一般百五十円、学生五十円、小・中学生二十円）を各戸一枚ずつお配りしますので、ぜひ、ごらんになってください。

なお、優待券は市役所の窓口にも用意してあります。

社会教育関係委員が決まりました――＊

社会教育関係の新しい委員がこのほど決まりました。任期はそれぞれ昭和五十八年の五月三十一日までです。

（以下順不同・敬称略）

〔社会教育委員〕

渡辺昭策、広橋のや、鈴木博、笹川正勝、沢田録郎、土田新一郎、佐藤栄児、稲垣清一郎、斎藤勇、大塚正勇

〔公民館運営審議会委員〕

笹林定栄、宇野隆、斎藤恒雄、深井竜吉、桑原美恵子、藤田礼子、深井潤子、本間信一、鈴木熊雄、坂爪精一郎、片岡梅乃、湯田勇治、藤田峯男、森田末司、木伏政一

〔図書館協議会委員〕

川上宣男、白井正子、渡辺譲、青木喜美江、光井悦、揮野吉郎、明間倉一、木村興一、大塚正勇、桑原美恵子

〔文化財調査審議会委員〕

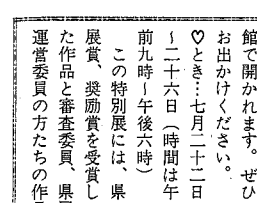
真柄慎平、内山勝海、小川重蔵、岡村正平、清野隆志、星名忠直、田村忠夫、岡三郎、宮崎昭夫、渡辺肇

お買物、ご用命は市内で

花に託して心を贈る
慶弔用贈花・供花の御用命は
新町一丁目 小林生花店
TEL(2)-1080・(2)-5707（各流派いけばな教室案内）

カメラ8ミリは 3回～20回払い
気軽なカメラクレジットを
ご利用下さい
㈱コダカメラ店
〒956 新津市本町二丁目 ☎(2) 0583

明治夜話


(63) 鶴ケ城

Ⅵ 中野竹子の戦死と婦女薙刀隊の入城

婦女薙刀隊の隊長格の中野竹子も、闇の中から飛来する敵の弾丸の前には、一たまりもなく斃されてしまった。

依田菊子は、その後のことについて

「お妹御の優子様は其時お母様に、〈お姉様の御首級を敵に渡さぬやうに私が介錯しませう〉と云って、敵と遣り合い乍ら段々とお姉様の方へ近寄って来られて、到頭見事に介錯せられて、白羽二重の鉢巻か何かに御首級をお包みになりました。

尤も女の事なので、頭髪の毛が引っかかって御首級が容易に取れなかったのを男の方が手伝っておあげになったようです。このお首級は後になって坂下の法界寺に葬りました……。」

と語っている。之は乱戦の際であったからはっきりしなかったのであろうが、『中野竹子女史略伝』では、母の孝子が介錯をしようとしたが、首級はなか〳〵落ちず、そのうちに味方の指揮官が退却を命令したので、退却の時、竹子の屍に近づいてみたら、首級は何処へ行ったか見当らず、翌二十五日に法界寺にあることが分ったというのであり、之は農兵が敵に奪われることを不憫に思って、斬り取って袖に包んで持ち帰ったのだと云う。

中野竹子を失った婦女薙刀隊は、その後の八月廿八日に鶴ケ城に入城することとなった。

鶴ケ城の女達（二〇）

阿達 義雄

「随分激しく戦ひましたが味方の損害も大きいので、残念ながら一同と共に其夜は高瀬村へ引揚げましたが、家老の萱野様始め、『何時迄城外に居ても鉄砲玉で死ぬだけに定って居るから、それよりも城の中へ入って、手負の看病其他に働かれたら宜からう。是非城へ入れ』と言はれるので、二、三日休んでから私共一同は入城しました。

六人の鉄砲を持った男の方に護って頂いて城門へ往って、此方から山と云ふ、彼方からは川と云ふ、合言葉で城門を開けて入れて呉れました。」

婦女隊は何も衝鋒隊などに加わって戦うということそれ自体が目的ではなく、坂下には照姫様はおられず、矢張り城内におられると聞いて、敵の包囲を破って入城しようとする衝鋒隊等に附して戦ったのであるから、本来の目的は入城することにあった。萱野権兵衛は之をよく知って入城を頻りに勧め、廿八日に漸く入城することができた。

なお、入城後のことについては、

「それから山川健次郎様（故男爵前帝大総長）のをば様で、用人の永井民彌と云ふ人の奥様になって居られた豊子様と云ふ、かねて懇意に願った方に会って、戦争して来た御話をしますと、『それなら殿様に御目にかけなくちゃ』と云ふので、私共婦女隊一同は、鉄門に居られた殿様にお目にかかりました。

丁度、夜分の事でしたが、殿様には『よくお前達女子でも働いて呉れた』と仰せられて、お側に高く盛り上げてあった立派なお菓子、径二、三寸もあらうと云ふ結構なお菓子を五個宛も戴きました。

それから照姫様にも引続いてお目にかかりましたが、この照姫様も実にお美しい方でしたが、狆を大変お可愛がりになって居られまして、この時もお肩の上などに狆が負ぶさりなどして居ました。

お傍には又沢山お女中も附いて居られました。

昭和七年月月廿一日発行「日曜報知」、会津婦女隊従軍の思出……永島菊子述（八十五歳）

神保雪子の行方

平石弁蔵著『会津戊辰戦争』山川健次郎『会津戊辰戦史』などには、右の婦女薙刀隊員の中に神保修理の妻の雪子をも加えているが、依田菊子の談にも中野（蒲生）優子の談にも出て来ないのは不思議である。

綱淵謙錠氏も之に不審を抱き、その著『戊辰落日』の中に、神保雪子が八月二十五日、大垣藩に捕えられていたという説を紹介している。

即ち、氏は「会津若松市の郷土史家星野正介氏より御教示いただいたものである」として、

星野氏によると、――

会津籠城三日目（慶応四年八月二十五日）夜、土佐藩八番隊長吉松速之助および同藩十九番隊長久時衛は、若松城下の西名子屋町長命寺の大垣藩陣営を訪れた。陣営は、かがり火の光で白昼のように明るかった。そこに若い女性が縛られていた。

「これはどうしたのですか」「そこの川ばた（長命寺の西方一キロ、湯川の川ばた）でつかまえて来たのですが、姫君を守護するため入城しようとするところだというだけで、何も答えないので、今首を斬るところです」「女を殺しても無益でしょう。生命は助けてつかわしたらいかがですか」

「いや、賊をとらえたら殺すのが軍法。他藩の口出し御無用」

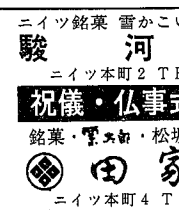
女性は吉松に、自害をしたいから脇差を貸してくれと頼んだ。そして、吉松の貸した脇差で、切腹して死亡した。

吉松速之助は秀枝と改名し、陸軍々人となり、東京で会津藩出身の軍人に右の話をした。（というのであるが、之は右の女性を神保雪子と推定したものである。）

（新潟大学名誉教授）

お買物、ご用命は市内で

動物の診療・予防・検査・諸手術・入院
預り・健康管理 〈月曜日休診・急患随時〉
ニイツ動物病院
獣医師 白杉友義・獣医師 白杉多恵子
新津市本町2丁目7番21号 ☎2-5976・4-6262
（総合結婚式場「一楽」より五泉方面へ200m左側）



ニイツ銘菓 雪かこい
駿河屋
ニイツ本町2 TEL(2)0543
祝儀・仏事式菓子
銘菓・栗大福・松坂羊かん
田家屋
ニイツ本町4 TEL(2)0430